



地域おこし協力隊通信

佐藤 香蓮 編 第78回

こんにちは。中心市街地活性化担当、佐藤です。去年の10月に能代に来てあつという間の1年。活動の一つが中心市街地のにぎわいづくりなので、たくさんイベントの運営や補助に参加させていただきました。

先月は上町から畠町、JR能代駅前、能代図書館・中央公民館までに、灯りを飾った「第22回のしろまち灯り」がありました。22回も開催できているのってすごいですよね!?協力隊活動の1年を通して、イベントを開催、そして続けることはお金も労力もかかるし、簡単なことではないと感じました。21回絶やさず続けてきた方々がいたからこそ、私も今回関わることができました。

昨年12月に能代駅前商店会の皆さんと、能代駅前にイルミネーションを飾り、クリスマスイベントを行いました。雪や風の荒天の中、キッチンカーの食事も全部売り切れる大盛況。今年は、空き店舗や歩道、車道の有効活用をテーマとした「第2回のしろいち」とともに駅前イルミネーション



夫婦でカメラにポーズ!



第1回のしろいちでは仮装を披露

ができることになりました。駅前イルミネーションもまだ2回目ですが、今年も続けることができると、とてもうれしく思います。12月19日(日)はぜひ能代駅前に遊びに来てくださいます。また、にぎわいづくりに関わってみたいと思う方、ぜひチラシを貸してください。一緒に街の日常のにぎわいづくりをしましょう♪

問合せ 中心市街地活性化室 ☎89-1414

このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。



Aターン編 No.107

新規就農者

ふるしゅう 古庄将彦さん(38歳)

ネギ農家で研修中。立派な農家になりお世話になった方に恩返ししたいです



●自分のためにと農業志す
昨年6月、農業の勉強をするため大阪府より移住。現在は、槐地区のネギ農家で研修中です。前職では介護の仕事をしていました。「人のために」と選んだ仕事でしたが、よりやりがいを感じられるような「自分のためにもなる」仕事をしたいと転職を決意。幼少期に祖母の畑を手伝って楽しかった思い出が頭に浮か

び、外で働くことも好きだったのでこの道を選びました。

●SNSがつかない縁
日本海側で行ったことがない場所を希望し、秋田県と青森県に絞って転職先を探しました。しかし農業未経験の上、コロナ禍も影響。応募した20社ほどに断られ、半年近く決まりませんでした。転職となったのが、たまたま見つけた農業関係のSNS。自分の状況を書き込んだところ、能代市で農機具販売などを行う会社の方が声を掛けてくれた今の研修先とつながりくれました。

●師匠の背中を追って
現在は、一農家として独立するための準備中。4年度は園芸メガ団地の20アールの畑を借りてネギの出荷に取り組み、5年度は自分一人で栽培から取り組む予定です。希望して飛び込んだ世界ですが、草取りや虫・カビ対策など注意することが多く大変さを痛感しています。目標は、一定量を一定の品質で毎日のように出荷している師匠のような農家になること。農業に関わる人からすれば素人が何を言っていると思うかもしれませんが、いろいろな縁があつてここまでできました。農家として立派な姿を見せ、恩返ししたいと思っています。



収穫したネギの皮むき作業。一日中の作業で最初こそ大変だったが今は慣れてきたそう

●仕事の仕方を日々勉強
研修先では、出荷前のネギの加工を担当し、苗作りや畑

の管理方法なども勉強中です。市内でも有数の規模を誇る農家なので、仕事のスピードや取り組む姿勢など勉強になるところばかりです。